

小鳥の森で観察してみよう 84

マヒワ

分類：スズメ目アトリ科

生態

- ・冬鳥
- ・季節 10月～3月
- ・生息場所 森林 草地

小鳥の森での観察

- ・園内各地

オスは頭は黒い。からだはきれいな黄色。



たけうち - ま

大きさ：約12cm

今回の絵は、たけうち かずま さん（7さい）が描いてくれました。

12月の自然予報

すっかり葉の落ちた12月になると、木々の枝がよく目立つようになります。

その時期になると、葉が枝についていたところに痕（あと）が残って、木によってはそれが顔のように見えます。これを「葉痕（ようこん）」といいます。

葉痕（顔）は木の種類によって異なるので、木の種類を判断する時に葉や幹だけでなく、「葉痕」も手がかりの一つになります。

冬の顔（葉痕）を探しに、冬の森へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



トチノキの葉痕

12月になると森の中の緑がなくなり、冬らしい森にさま変わりします。

そんな中でも、目立つ緑色のものがあります。ウスタビガというガのまゆです。枯れ枝についた美しい緑色のまゆは森の中ではかなり目立つため、冬の散策中にはよく目にします。小鳥の森周辺では11月上旬に羽化する大型のガです。

よく探してみると冬の森の中には生き物の生活していた様子が残っています。冬の森で冬ならではのものを探してみてください。



ウスタビガのまゆ

11月の自然

11月になり、気温が下がってくるとともに、冬鳥の種類が増えてきました。

ネイチャーセンター前では、ショウビタキがなわばりを張り、バードウォッチングで人気の高いルリビタキも11月19日に小径沿いで確認されました。他にも日本で一番体の小さいキクイタダキがカラ類の群れに混ざっていたり、ミソサザイも確認されるなど、園内も冬鳥でにぎわいました。



ルリビタキ

11月になると、花は咲かない印象ですが、そんな中でもキッコウハグマがカワセミの小径沿いに群れて咲いているのを観察できました。花びらは1cmほどの大きさのかわいらしい花で小さな風車のように見えます。

この花を見ると年内に咲く花も終わりに近づきます。森の中では冬の足音も徐々に聞こえはじめてきた11月でした。



キッコウハグマ

小鳥の森スタッフだより

給餌台に来る野鳥を観察しよう！

館内から観察できる給餌台では、冬の間ヒマワリの種を食べに来る野鳥を観察することができます。シジュウカラやヤマガラは一粒くわえて近くの木の枝にとまり、足でおさえて嘴（くちばし）でからを割って中身を食べます。またシメやカワラヒワはかむ力が強いので、給餌台の上で次々とかみくだいて食べます。野鳥の嘴は食べ方によって形が異なるので、給餌台に食べに来る野鳥がどんな嘴でどう食べるのかゆっくりと観察してみたいでしょうか。

(レンジャー ほそい としひろ)



ヤマガラ



シメ

お山の大將あつまれ！活動報告

11月18日にお山の大將あつまれ！が開催されました。今回は「森探検」ということで、道がついていない森の中を歩きました。

小鳥の森では3つの小径がありますが、小径からはずれての散策は禁止になっています。今回は特別に普段歩けない森の中をレンジャーと一緒に歩いて、クイズをしたり、森の中の急な坂を登ったり、ゲームをしたりと自然の中を満喫できる内容でした。

外で活動するには、少し寒い気温になりましたが、そんな寒さも吹き飛ばすような子どもたちに元気をわけてもらえました。



お山の大將あつまれ！活動様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2018年12月号No.395/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま